

# 最近の雇用情勢について

(令和2年4月)

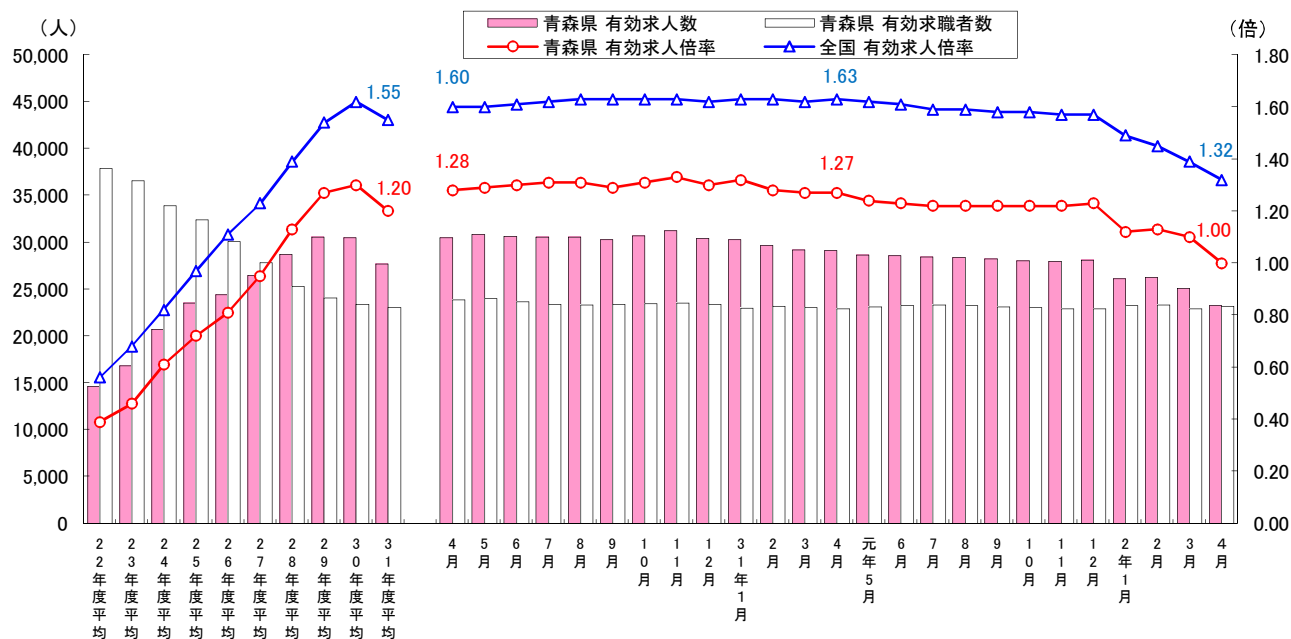
青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

4月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ7.5%減少し23,215人、有効求職者数(同)も1.1%増加し23,161人で、有効求人倍率(同)は1.00倍となり、前月を0.10ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍で前月に比べ0.10ポイント下回り、受理地別の倍率を0.10ポイント上回った。

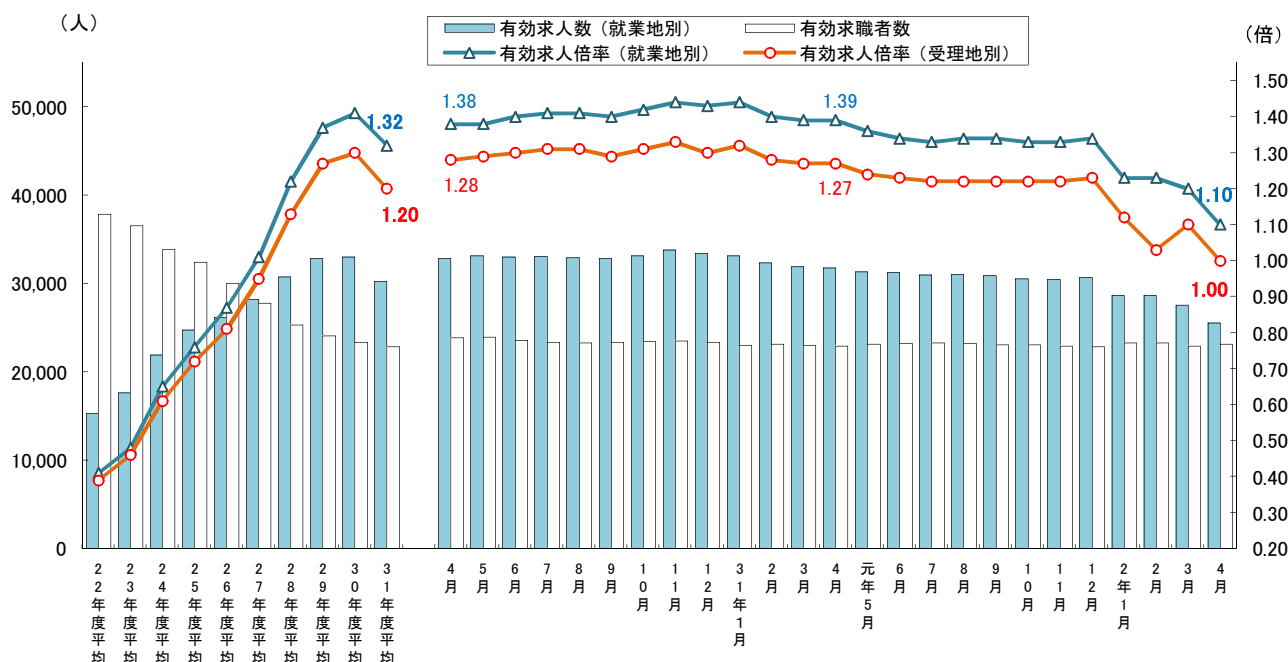
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

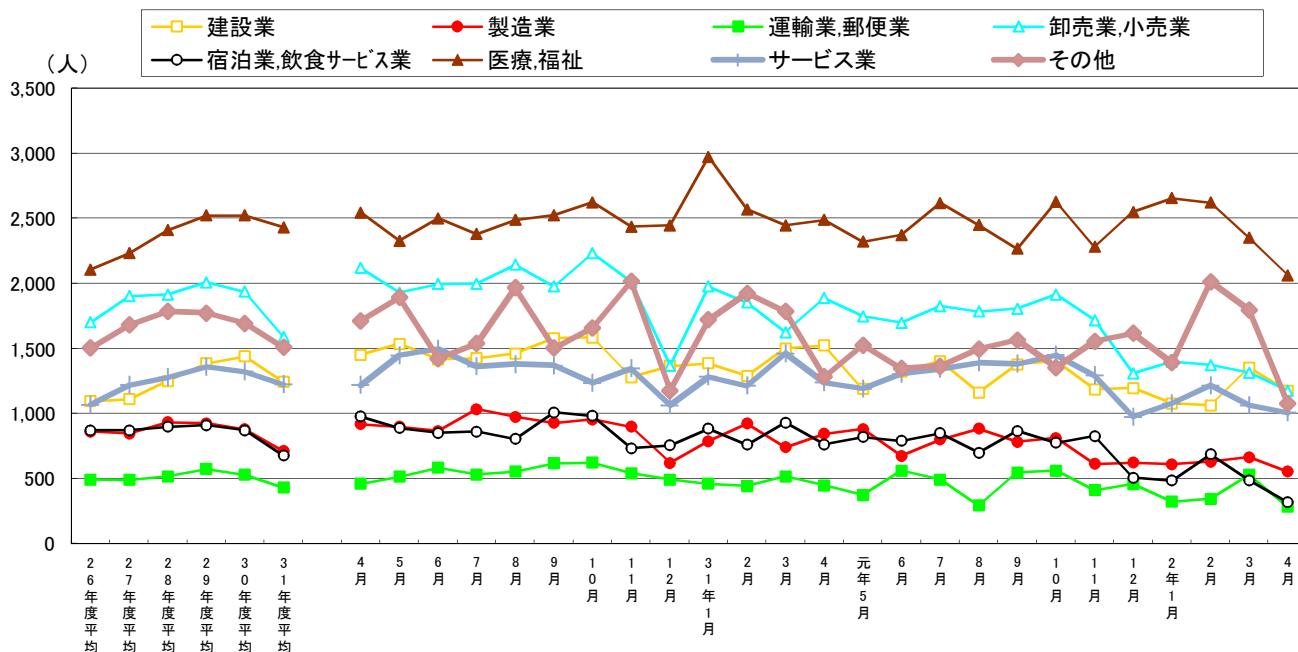
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

4月の新規求人数(原数値)は前年同月比26.9%(2,824人)減少の7,656人。

主な産業別で前年同月と比較すると公務(他に分類されるものを除く)・その他で増加し、建設業、製造業、運輸・郵便業、卸売業、小売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉業、サービス業で減少した。

製造業では、電気機械器具製造業、その他の製造業で増加し、食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装飾品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック、コム製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業・非鉄金属製造業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で



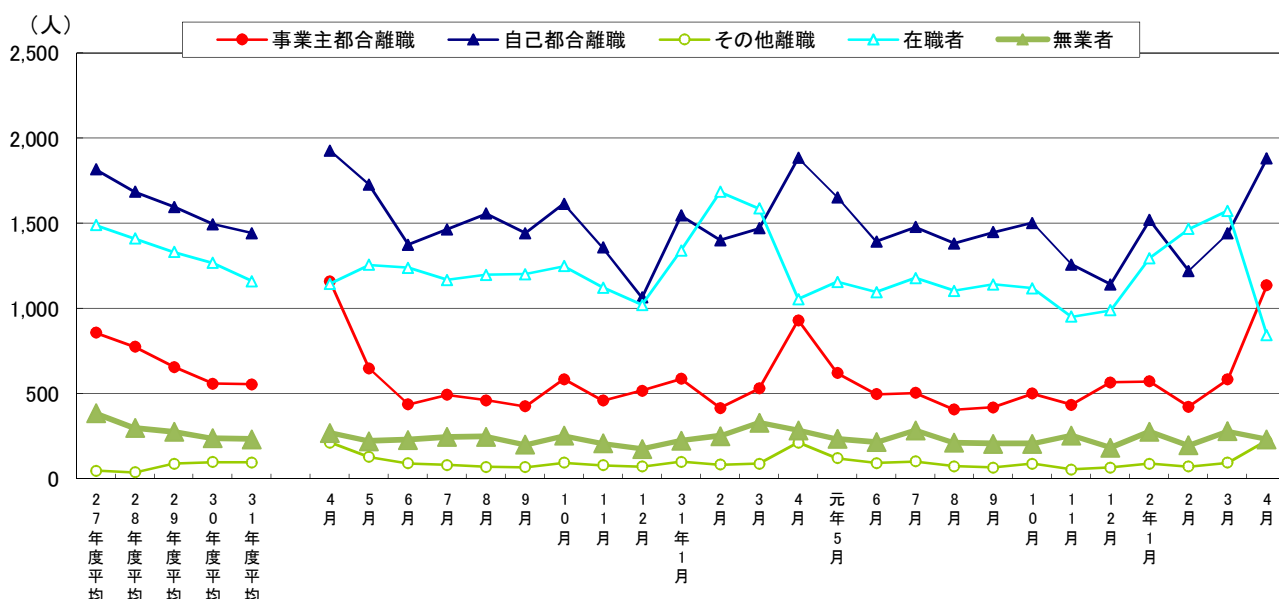
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業・保険業」「不動産・物品賃貸業」「学術研究・専門・技術サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」「教育・学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

4月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比3.4%(245人)減少の7,003人。

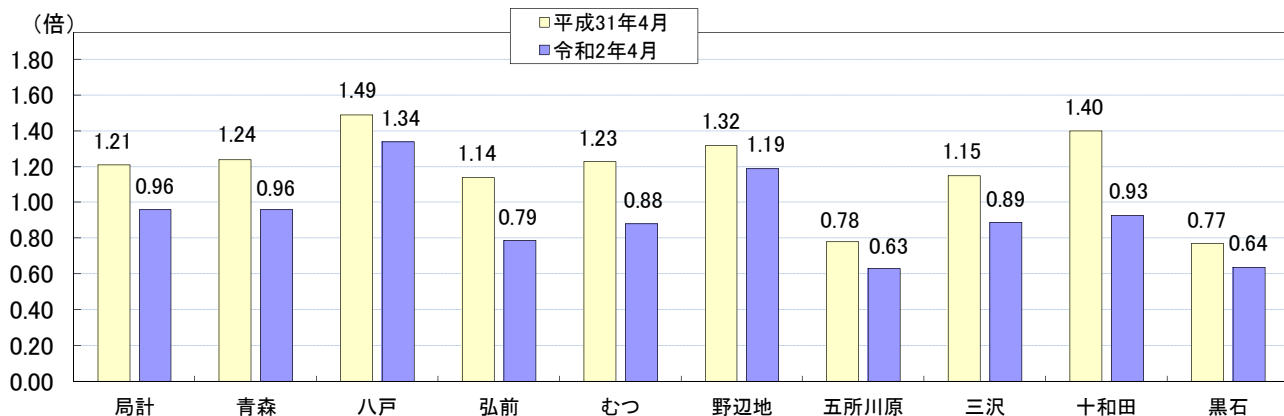
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は18.2%(192人)減少、無業者は18.2%(52人)減少、離職者は7.0%(211人)増加となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比22.0%(205人)増加、自己都合は同0.3%(5人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

4月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.96倍となり、前年同月より0.17ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.4	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,317	6,046	5,233	4,576	1,183	896	2,318	1,386	1,265	1,414
有効求人数	23,289	5,777	7,016	3,617	1,046	1,065	1,456	1,227	1,177	908

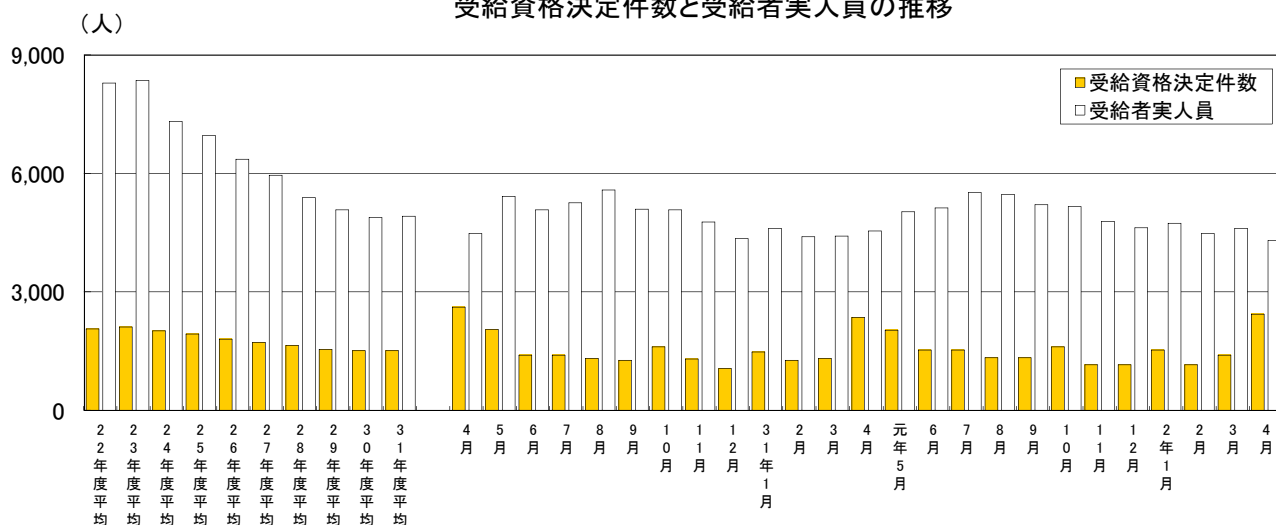
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

4月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比5.2%(236人)減少、前月比では6.4%(296人)減少の4,312人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比3.4%(80件)増加、前月よりも74.9%(1,044件)増加し2,438件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比30.0%(181人)増加、前月比172.2%(496人)増加し777人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

